



WWF

REPORT

INT

2018



「生きている地球」の今

自然の価値

自然は私たちが生きていくうえで必要なすべてのものを与えてくれます。空気、飲み水や食べ物、モノを作る原材料、家や車、工場で使う燃料など、どれもなくてはならないものです。過去50年の間に、世界の人口は急速に増え、土地や、電気やガスなどのエネルギー、水の需要が急激に増えました。その結果、今、私たちは、地球が再生する量よりも多く、早く自然の資源を利用しています。さらに、私たちは、地球が吸収できるよりも多くの廃棄物を出しています。

人類が地球に誕生してから約20万年が経ちました。これは地球の歴史45億年のなかではわずかな時間に過ぎません。それなのに、人類はこれまでのどの生物よりも地球に大きな影響を与えています。

人間の活動は、森や海、川などすべての地球の環境を変えつつあります。世界中で、森の木を伐り、川から大量の水を取り、海の魚を獲り、生き物を絶滅に追いやっています。これらの変化はとてつもないもので、科学者たちは、「人新世（アントロポセン）」つまり「人類の時代」に突入したと言っています。

自然は、すべてのものがつながっています。池に石を投げたら波紋が広がっていくように、どのような変化でも地球のすべての場所や環境に影響します。現在も未来も、人間と生き物がともに生きるためには、多様な植物や動物が存在し、豊かな生態系をもつ、健全な地球が必要なのです。

私たちの行動が自然にどのように影響するのかを理解することで、自然を守る最善の方法を見つけることができます。

生きている地球レポート

WWF『生きている地球レポート2018』は、専門家によって、地球が直面する状況と主な脅威について、明らかにしたものです。この20年間、科学者たちは、世界中のたくさんの野生動物たちの個体群の変化を調査してきました。例えば、サバンナのヌーの生息数を数えたり、アマゾンで調査用の自動カメラを使って、熱帯林にすむバクの動きを観察してきました。科学者たちはまた、さまざまな野生生物の生息環境の変化や絶滅の危機についても調べています。その結果、このレポートでは、地球上に存在する多くの生き物の個体群が急速に減少している、と結論付けています。

地球への過剰な圧力

『生きている地球レポート』によると、ほ乳類、鳥類、は虫類、両生類、魚類の個体群は、過去50年弱（1970～2014年）で、平均60%減少しました。これは動物を過剰に獲ったり、違法に捕ったり、農業のための開墾などで生息地が失われたりしたことによるものです。とくに熱帯林や、世界中の川や湖、湿地などにすむ生きものの減少は、最も深刻な状況です。

土壌の劣化

集約型農業は、世界中で土壌の質に影響を及ぼしてきました。また、食用となる穀物の75%の受粉を助けているハチや他の昆虫などが、花粉や蜜を探し、巣をつくる場所が減り、個体数が減ってしまう原因になっています。



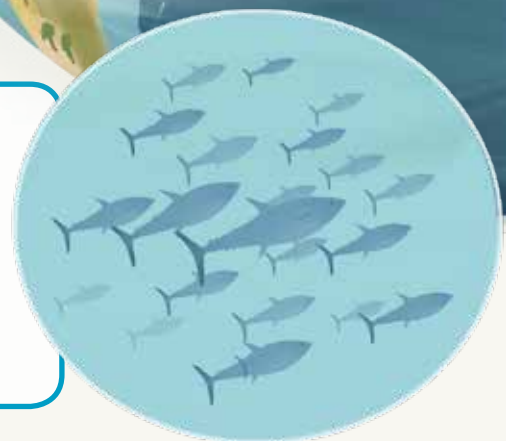
森林の消失

地球上で、熱帯林はとても多様な動植物を育てています。また、私たちの呼吸に必要なたくさんの酸素を作り出し、世界の気候を調整することに役立っています。しかし、熱帯林は急速に減少しました。木材用の伐採や農地開墾、また鉱物採掘のためや、道路や街を作るために、過去50年間で、アマゾンの熱帯林の約20%が失われてしまいました。



海の劣化

世界の海の魚の量は劇的に減少しています。毎年、私たちは数百万トンの魚介類を獲っています。これは水産資源が再生する量を超えています。プラスチックによる海洋汚染も、海水面から海底に至るまで、海の生物の大きな脅威となっています。科学者の調査によると、海鳥の90%からプラスチックの破片が発見されています。





氷が融ける

地球温暖化は人間の活動によるもので、ホッキョクグマやセイウチなどの北極にいる野生動物に影響を与えています。ホッキョクグマやセイウチにとって海の氷はとても大事な場所です。そこから海に飛び込んだり、食べ物を獲ったりする場所になるからです。氷は、魚やオキアミのえさになる藻類の成長を助けます。地球温暖化が進み、氷が消失してしまうと、動物たちの食べ物がなくなってしまうのです。



野生動物の売買

トラ、ゾウ、サイなどは毛皮、牙、角などのために密猟されています。アフリカゾウの生息数は過去100年間で90%減少しました。



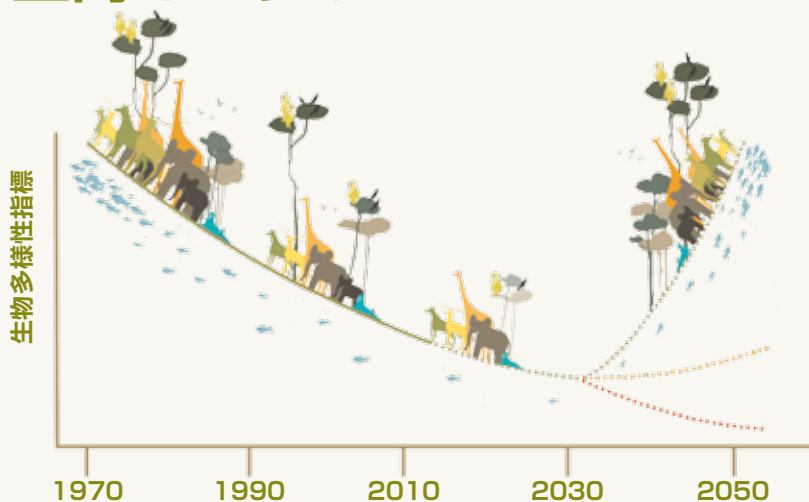
淡水域の危機

川、湖、湿地は地球表面積のわずか1%以下を占めるに過ぎませんが、動物たちの約10%が生息しています。また、川や湖は私たち人間にも、飲み水や農業用水などを与えてくれます。しかし、これらの場所は、汚染や水の使い過ぎ、ダム建設によって、その量が減り、質が悪くなっています。

たくさんの政府や団体が野生生物を保護するために働いており、成功している事例もあります。

たとえば、ザトウクジラ、ジャイアントパンダ、トラの個体数は近年回復しています。このような良い事例があたりまえになることが大切です。

野生生物の減少カーブを上向きにするには



人間を含むすべての生き物を支える自然システムの衰退を防ぐため、私たちは世界中で本当に変わらなければなりません。私たちが直面する課題は、増え続ける人口を養いながら自然を守り、地球温暖化を避ける方法です。政府、企業、地域、個人など、すべての人々に、それぞれやるべきことがあります。

世界各国は、野生生物の減少や自然の衰退を防ぐために共に行動する、明確な目標に合意している。大人や政治家は、今、行動をおこし、自然を第一に、ものごとを考えるときである。



世界が合意したこと

生物多様性条約2050年ビジョン

「2050年までに、生物多様性は評価され、保全され賢く利用される。それによって生態系サービスと健全な地球を維持し、すべての人に不可欠な自然の恩恵をもたらす。」

国連 持続可能な開発目標 (SDGs) ターゲット15.5

「自然の生息地の劣化を抑制し、生物多様性の損失を阻止し、2030年までに絶滅危惧種を保護し、また絶滅を阻止するための緊急かつ大胆な対策を講じる。」



小さな行動が積み重なって大きなアクションになる

- 自然を守る大切さについて、友達や家族、先生と話そう。
- 木を植えたり、電気や石油などのエネルギーを節約したりして、地球を救う動きを、あなたの学校や地域で始めよう。
- 食べ物について考えてみよう。いまの食べ物の生産方法は地球に大きな影響を与えています。野菜をもっと食べると影響を減らすことにつながります。なぜなら、牛肉1kgを生産するには、野菜1kgを生産する70倍の土地が必要だからです。
- 地元の政治家や企業に手紙を書いて、あなたの心に響いた環境問題について、伝えてみよう。
- そうして、恐れずに、いろいろな質問をしてみよう。
- 市民の科学プログラムなどの活動に参加して、科学者と一緒に、あなたの地域のさまざまな野生の生き物を記録してみよう。
- あなたの家の庭に野生の生き物の生息地を作ってみよう（例えば、昆虫の居場所を作ったり、カブトムシなどの甲虫のために腐った丸太を置いたりすること）。
- ハチやチョウなど、花粉を運ぶ動物が好む植物を育てよう。
- プラスチックの使用量を抑え、再使用、リサイクルをしよう。
- 長い期間もつモノや、修理可能なモノや、リサイクルできるモノを買おう。自転車や洋服などは修理したり直したりできます。
- あなたの身の回りの自然の不思議を発見し、楽しもう。

私たちはWWFです
人と自然が調和して生きられる未来を目指して、
地球規模の変化を食い止めるさまざまな活動を実施しています。
panda.org/lpr

生物多様性: 限られた地域でも地球全体でも、ある特定の範囲に、多様な生きものがいて、さまざまな生態系が存在すること